



平成27年10月30日

各位

上場会社名 株式会社 タカギセイコー
 代表者 代表取締役社長 八十島 清吉
 (コード番号 4242)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 林 延幸
 (TEL 0766-24-5522)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月14日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,460	△420	△670	△710	△52.74
今回修正予想(B)	22,440	△160	△340	△320	△23.77
増減額(B-A)	△20	260	330	390	
増減率(%)	△0.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	24,215	82	△72	△1,495	△111.12

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,280	530	130	△270	△20.05
今回修正予想(B)	45,890	470	160	△30	△2.23
増減額(B-A)	△1,390	△60	30	240	
増減率(%)	△2.9	△11.3	23.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	50,656	120	△57	△4,091	△303.89

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、概ね前回発表数値通りに推移する見通しではありますが、損益面では、単体における通信機器分野の増収効果や中国における車両分野の好調な受注推移等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに、前回発表の数値を上回る見通しとなりました。

また、通期の業績予想につきましても第2四半期連結累計期間の業績予想に加え、売上高は第3四半期以降もインドネシアにおける自動車及び二輪車の需要低迷が予想されること並びに想定為替レートの見直し等により、前回発表の47,280百万円を2.9%下回る45,890百万円の見通しとなりました。損益面では、インドネシアの減収影響及びタイにおける新塗装ラインの本格稼働に向けた対応費用の増加等が見込まれることより、営業利益は、前回発表の530百万円を11.3%下回る470百万円、経常利益は、前回発表の130百万円を23.1%上回る160百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表の△270百万円を240百万円上回る△30百万円の見通しとなりました。

以上